

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

# ハートフル・ワード(心からの言葉)

公認会計士・税理士  
齊藤栄太郎事務所

TEL 03-6206-8010  
FAX 03-3254-0118

## 経営者への活きた言葉

### トラとアリとどっちが強いのか、アリが強い 伊藤 雅俊 (イトーヨーカ堂創業者)

- セブン&アイ・ホールディングス (HD) 名誉会長の伊藤雅俊氏が3月10日亡くなった。享年98歳である。東京・足立区千住の焼け跡で家族と始めた2坪の洋品店が、イトーヨーカ堂の原点だ。
- 96年にヨーカ堂の名誉会長に復帰した。このときのインタビューで「あと5年もして、経済のグローバル化が一層進むと、先進国のマーケットには、あらゆる国からの商品が流れ込んでくる。一方で、強い産業がどんどん海外に出てしまえば、賃金は上がるはずがない。「これを小売業から見れば、モノの値段はドンドン下がるということ」。21世紀に到来する「安いニッポン」の風景を視野に据えた、卓越した商人ならではの先見性といえるだろう。
- 「私は商売を2坪の店から始めたから、お客が店に来てくれることのありがたみがわかる。けど今、グループ全体で毎年2000人も入ってくる連中は大きな会社だから安心だと思って入る。そうするとだんだん官僚化してくる。「トラとアリとどちらが強いのか、といたらアリではないかと思っている。顧客の変化への対応では大組織は本当に弱い」。

(参考:「週刊東洋経済」2023年4月1日号)

## 経営者のための理念・哲学

### 絶海の孤島に携えたい本 (論語)

#### 加地 伸行 (大阪大学名誉教授)

- 人間は誰も生きていく上で拠り所を求めていると思います。その拠り所を宗教に見出す人もいれば、自分の両親から教わったこと、恩師から習ったこと、哲学や歴史や書物から学んだことなどを拠り所にする人もいます。特に企業経営者には拠り所を持っていない人などいないでしょう。
- 優れた本がたくさんある中で、多くの人が拠り所として読んできたのが「論語」でした。もし絶海の孤島に一冊だけ本を持っていくならば、私は躊躇することなく、「論語」を選びます。また、皆さんにもおすすめしたいと心から感じています。

(参考:「致知」2023年6月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### なぜ人は成長するか

#### 入山 章栄 (早稲田大学ビジネススクール教授)

- ブラック企業はダメだという風潮が強まったことで、今は逆に、若手との正しい接し方が分からないからと、必要以上に優しくなってしまう。ポイントは、若い人は「自分がいかに成長機会を持てるか」を考えているということです。
- なぜ人が成長するかというと、失敗も含めた「自己決定性」です。人間で一番重要なのは、自己肯定感です。声をかけて、話も聞いて、肯定してあげてください。自分で決められて、結果のフィードバックがある状態が必要ですが、日本の会社には、それがありません。上司がパワハラをやめて優しくなっても、若手に決定権がない。それで若手が辞めているのです。

(参考:「日経ビジネス」2023年4月17日号)

## 古典に学ぶ

### 泥の中にこそ、成長させる栄養がある

- 蓮は、泥水の中でしか育ちません。澄んだ水の中では、あの可憐な花を咲かせることはできないのです。泥の中にこそ、蓮は成長させる栄養があるのでしょう。
- 長い人生の間には、トラブルに見舞われる時があれば、努力してもなかなか報われない時もあります。そんな時は、泥が自分を育ててくれているのだと思ひましょう。困難から学ぶことができる人は、必ず美しく咲くことができます。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)